

3月の天体観望会

平成25年3月14・15日

ふゆ せいざ 冬の星座をさがそう

冬の夜空は明るい星が多いのでさがしやすいです。

冬の三大角

ベテルギウス（オリオン座） シリウス（おおいぬ座） プロキオン（こいぬ座）

冬の六角（ダイヤモンド）

リゲル（オリオン座） シリウス（おおいぬ座） プロキオン（こいぬ座）

ボルックス（ふたご座） カペラ（ぎょしゃ座） アルデバラン（おうし座）

プレアデス星団（すばる）

オリオン座大星雲M42

春の星座は、もう少し遅い時刻になると見られます。

ざ だいせいうん せいだん オリオン座大星雲 プレアデス星団（すばる）

オリオン座大星雲は、地球から1500光年のところに広がる巨大なガス星雲で、小さな望遠鏡でも、美しい姿が見られます。この中では無数の赤ちゃんの星が生まれています。中心部にはトラペジウムとよばれる青白い4個の若い星が輝いています。

プレアデス星団は、日本では昔から「すばる」とよんでいます。星々がむすばってアクセサリのように美しいという意味からきています。地球からプレアデス星団までは407光年です。今夜みられる光は407年前に地球に向けて旅立った光ということになります。光の正体は年齢が5000万歳の、天文学的には赤ちゃんの星の群れです。肉眼で見ると6～7個の星が数えられます。視力がいい人もって見えて、14個見える人もいます。

もくせい み 木星がおうし座に見えます。

木星は太陽から5番目の惑星です。太陽の周りを12年かけて一回りします。直径は地球の11倍。体積は1300倍ありますが、重さは地球の320倍しかありません。木星は水素やヘリウムなどの軽いガスでできた天体だからです。

木星に見られる模様はガスの雲の流れです。南半球には大赤斑とよばれる模様があります。地球が3個入る大きさだそう。望遠鏡で見たときに、木星の近くに見えるのは衛星です。イオ、エウロパ、ガニメデ、カリストなどのガリレオ衛星とよばれています。イオは、地球以外で初めて火山が見つかりました。エウロパには、氷の下に海があるのではないかとされています。

- ・「星空図鑑」 藤井 旭 ポプラ社
- ・「四季の星座図鑑」 藤井 旭 ポプラ社